

しあわせ家族計画 字幕

Chapter4: Tetsuo comes back

よし たらう
由太郎 : ああ、ずるいよ

よう こ
陽子 : ざまあみろ¹

てつ お
哲男 : ああ、いい風呂だった
おっ、面白そうだな

つね こ
恒子 : どっち勝^かってんの

よう こ
陽子 : あたしが勝^かってんの

つね こ
恒子 : ええ、すごいじゃん

ゆう こ
優子 : どうぞ

てつ お
哲男 : しかし 驚^{おどろ}いたなあ
優子さんにあんなに立派^{りっぱ}なお子達^{こたち}があるとはなあ

ゆう こ
優子 : それだけおばさんになっちゃったって事^{こと}

てつ お
哲男 : いや、昔^{むかし}とちっとも変^かわってません²

ゆう こ
優子 : いやだ、もう、うまいんだから³

よし ぞう
義造 : いい歳^{とし}して何^{なに}をはしゃいでやがんだよ⁴

ゆう こ
優子 : うるさいわね
それよりどうしてたの、今^{いま}まで

てつ お
哲男 : ここを出てから、色々^{いろいろ}な店^{みせ}を転々^{てんてん}としまして⁵、所帯^{しょたい}も持^もってみたんですが⁶、
結局^{けっきょく} うまくいきませんでした
子供^{こども}ができなかったのを 幸^{さいわ}いに⁷、女房^{にようぼう}とも別^{わか}れて、一^{いち}からやり直^{なお}そう⁸と
思^{おも}いました
そうなるとやっぱりここしかない
そう思い、決^{おも}めて、戻^{もど}ってきたんです

よし ぞう
義造 : そうか
哲^{てつ}、実^{じつ}は、おめえ^{もど}⁹が戻^{もど}ってきてくれねえかって、おれはどのぐらい思^{おも}って
たか、分^わからないくらいなんだよ
ま、この際^{さい}だから言^いうが¹⁰、俺^{おれ}は、哲^{てつ}に店^{みせ}を継^ついでもらいてえと¹¹、ずっと思^{おも}
ってたんだよ

つね こ
恒子 : 調子^{ちようし}のいい事^{こと}、言^いっちゃって¹²

よし ぞう
義造 : 何^{なに}っ

つね こ
恒子 : 別^{べつ}に

よし ぞう
義造 : 俺^{おれ}な、おめえと優子^{ゆうこ}を一^{いっしょ}緒^{しょ}にするつもりだったんだよ¹³

そう優子ゆうこに言ったいら、恋人こいびとがいるってえじゃねえか¹⁴
サラリーマンだとよ

優子ゆうこ : あなた

富士夫ふじお : ん

優子ゆうこ : 悪いけど、哲男てつおさんにビールも持ってきてくれる

富士夫ふじお : あっ

はい

哲男てつお : 実は、僕じつがこの店ぼくを出たみせのもそのせいででした

優子ゆうこさんが別べつの人ひとと結婚けっこんすると聞いて、ショックうを受けたんです

義造よしぞう : 知らなかったよお

てっきり、俺おれの味あじが気きに入らねえってんで¹⁵

哲男てつお : バカ言いっちゃいけねえ¹⁶

おやじさんの品しなは、日本にほん一いちです

義造よしぞう : 哲

由太郎よしたろう : あああ、落ちおちちゃった

優子ゆうこ : おはよう

富士夫ふじお : どうしたんだよ

優子ゆうこ : 買い物かと洗濯ものせんたく、お願いねがいね

あと、布団ふとんたたんどいて¹⁷

哲男てつおさん、今いま、コーヒーい入れるから

店員てんいん : 2,683 円えんになります

富士夫ふじお : 2,000 円えんとね、すみませんね

広瀬ひろせ : うるせえな¹⁸

おれになんか文句もんくあるのかよ¹⁹

バカヤロー

富士夫ふじお : ちょ、ちょ、ちょっと、ちょっと

だいじょうぶか

広瀬ひろせ : なんでお前まえがこんな所ところにいるんだよ

富士夫ふじお : ひ、ひ、引ひっ越こしたんだよ

そ、そっちこそ

ひろ せ
広瀬 : こんなバカが^{ちか}近くに^こ越すとはよ²⁰
ったくもう²¹

よしぞう
義造 : おおおい、ばかうけだぞ²²
哲^{てつ}の作った^{つく}タピオカ^ピカ^カく^くず^ずもち²³

てつ お
哲男 : そうっすか

つね こ
恒子 : はい、6個^{ろっ こ}、毎度^{まい ど}ありがとうございます

よしぞう
義造 : 毎度^{まい ど}

つね こ
恒子 : こちらさん²⁴は、3つ^{みつ}でしたっけ

ゆう こ
優子 : あたしがやる

お母さん、できました

つね こ
恒子 : あっ、こっち、こっち、こっち

さん こ
三個^{さん こ}で、600円^{えん}でございます

いつ
5つ

はいはいはい、ちょっと^まお待ちください

ふ じ お
富士夫 : エリー、ほとんど^{きたい}期待されてないみたいだけど、新会社^{しんがいしゃ}で^{がんば}頑張ってみるか
うん

つうこうにん
通行人1 : もう、おそいよ

つうこうにん
通行人2 : いてえなあ²⁵

ともだち
友達1 : なあにやってんの

ともだち
友達2 : バカじゃない

ともだち
友達1 : おっかしい

ともだち
友達3 : あの子、根^こ性^{こんじょう}あるね²⁶

ともだち
友達2 : ね、もう一時間^{いち じ かん}半^{はん}も待^まってんだよ

ともだち
友達1 : ね、そういうの^いってさ、マヌケ²⁷って言う^いんじじゃないの
おい

よう こ
陽子 : ちょっと、どういう事^{こと}
ずっと^ま待^まってたのよ

ひどいよ
ともだち 友達3 : 何すんのよ
ようこ 陽子 : なんで昨日来なかったのよ
ともだち 友達3 : しらないわよ
しょうた 章太 : やめろよ
やめろって

『重役の心得 会社をのばす33の鉄則²⁸』
ふじお 富士夫 : 主張すべき時は断固、主張する²⁹
主張すべき時は断固、主張する
じょうねつ しめいかん 情熱と使命感がそうさせる³⁰
じょうねつ 情熱と、おっ
そういえば、しばらくやってなかったなあ
てつお 哲男 : おう、悪い
待たせたな
行こうか
てつお 哲男 : ちょっとしぼってやります³¹から
よし、行こう
よし 由太郎 : ね、今日フオークボール³²教えてよ
てつお 哲男 : よっしゃ³³
よし 由太郎 : やった

ふじお 富士夫 : はい、川尻です、浦志満です
ともだち 友達 : 警告です
たく ようこ ひろせ しょうた お宅の、陽子さんと、広瀬章太、ラブラブなんだよね³⁴
がっこう もんだい 学校で問題になってますよ
どうにかしてください

ふじお 富士夫 : ラブラブ
なんだ
ひろせ 広瀬

ひろせ 広瀬 : なんだよ、お前
なに 何しに来たんだよ

ふじお 富士夫 : 話があるんですけど、ちょっとどうかかなと思って

の の
飲め、飲めませんけど
ひろ せ
広瀬 : ちよっと、悪いけど、きよ、きょう かんべん 今日³⁵は勘弁してくれ
かえ
帰れつつってんだよ、ばかやろう

ひろ せ
広瀬 : ばか、なんてことす、ばかやろう

しょう た
章太 : うっせんだよ³⁶

ひろ せ
広瀬 : 何てことすんだ、おや む 親³⁶に向かって

しょう た
章太 : ざけんじゃねえよ³⁷

ひろ せ
広瀬 : なあにをやったんだ、おまえ
ちよっと、おさえてくれ

しょう た
章太 : 離せよ

ひろ せ
広瀬 : しょう た なに き 章太、何が気にいらねえんだ³⁸
なに おもしろ い
何が面白くねえんだ、言ってみろ

しょう た
章太 : ちつきしょお³⁹

き み こ
喜美子 : ちよっとお、またあ
もう！いい加減⁴⁰にしてよ

しょう た
章太 : いい加減にすんのは、てめえら⁴¹だろう

き み こ
喜美子 : だれ かたづ 誰⁴¹が片付けんのよ
し ごと つか かえ
仕事で疲れて帰ってきて

ひろ せ
広瀬 : さけ の ある 酒⁴²ばっか飲み歩きやがって
それでもははおや
それでも母親か

き み こ
喜美子 : あんたのほうこそ、それでもちちおや
父親⁴²なの
じたくたい き
自宅待機のくせに

ひろ せ
広瀬 : やかましい

き み こ
喜美子 : ああもう
なに
何すんのよ

なに
何よ、あんた

ふ じ お
富士夫 : すみません

ひろ せ
広瀬 : おれ が ローン で 買った 家 だ
いえ
出て行け

き み こ
喜美子 : い われ な く た っ て 出 て 行 く わ よ 、 こ ん な 家
うち
この能無し⁴³

ひろ せ
広瀬 : ああ、いいよ
そのままにしといてくれ

まいど
毎度のこと⁴⁴なんだ

ゆうこ
優子 : いいわよ、哲男さん、^{わたし}私 やっとくから⁴⁵、^{さき}先に食べてて

つねこ
恒子 : 終わった、^{しこ}仕込み⁴⁶

ゆうこ
優子 : うん、終わった
ね、これどうしたんだろう

ふじお
富士夫 : 『^{かぞくけいかく}しあわせ家族計画』

ゆうこ
優子 : テレビの^{ばんぐみ}番組よ

ふじお
富士夫 : ^{しよるいせんこうつうか}書類選考通過⁴⁷って書いてあるぞ

よし太郎
由太郎 : うそ
やった

ゆうこ
優子 : あんたが^だ出したの
こんな^{いそが}忙しい時に、^{とき}こんなのんきなことやってられないの、わかってんでし
よう

よし太郎
由太郎 : え、でも、お父さん、^{ひま}暇だよ

ふじお
富士夫 : ^{なに}何言ってるんだよ、お父さんが^{ひま}暇なのと、テレビ出る^{こと}事と^{かんけい}どういう関係あるんだ
よ

よしぞう
義造 : これ、^{しょうきん}賞金、^で出んのか

よし太郎
由太郎 : ^{しょうひん}賞品^{まんえんばん}300万円分

ふじお
富士夫 : ^{まん}300万

よしぞう
義造 : ^{ぜったいで}絶対出ろよ

ゆうこ
優子 : そんな^{かんたん}簡単に^い言わないでよ
もし^{とお}通ったとしても、もの^{むずか}すごく^{しゆくだい}難しい^で宿題が出るのよ
しかも、それをやるのはこの^{ひと}人

ふじお
富士夫 : えっ
^{こと}どういう事、それ
^{じょうだん}冗談じゃないよ

ゆうこ
優子 : ^{ごうかく}合格すると^{おも}思う

よしぞう
義造 : ^{ぼうず}ボウズ、あきらめろ

よし太郎
由太郎 : えええ、そんなの、ないよ

つねこ
恒子 : いいじゃないの、どうせね、^{とお}通りやしないんだから⁴⁸
^{きよく}テレビ局の^{けんがく}見学のつもりで行ってきたらいいじゃない、ね

ふじお
富士夫 : ^{だめ}だめです
ぼくは、そういう、テレビとか、そんなのダメですから、^{ぜったい}絶対ダメです

めんせつかん
面接官

: いや、お父さん
自分のご家族に点数を付けるとしたら、何点位ですか

ふじお
富士夫

: 90点ぐらい、でしょうか

めんせつかん
面接官

: 10点マイナスの理由は

ふじお
富士夫

: 僕が今、失業中、って言いますか

ゆうこ
優子

: いえいえ、主人は、店を継ぐ⁴⁹事になっているんです

ふじお
富士夫

: 店を継ぐのはあの職人じゃないのか

ゆうこ
優子

: 誰が言ったの、そんなこと

よしぞう
義造

: 哲だろう、哲だろう、な、そうだ

それが一番なんだよ、だから

ようこ
陽子

: 嫌いだよ、あのひと

つねこ
恒子

: あたしもただけない⁵⁰ね、あの男は

よしぞう
義造

: ばあさん、やめろ

つねこ
恒子

: あいつはね、大体、調子良すぎるのよ⁵¹

よしぞう
義造

: 哲の何があんたに分かるってんだよ

つねこ
恒子

: 日本一の味だなんて

ゆうこ
優子

: よしなさいよ

義造

: 日本一だよ、俺は

うるさいってんだよ

ゆうこ
優子

: 面接会場で見つともない⁵²でしょう

ねえ

めんせつかん
面接官

: はい

ま、就職活動中という事ですか

ふじお
富士夫

: いえ、今、新会社を作る計画が進んでいるんですが

ゆうこ
優子

: 新会社

つねこ
恒子

: その前に、社長さんになんの

ふじお
富士夫

: いや、あの、取締役なんですけど

よしぞう
義造

: 重役

いいじゃないか、いいじゃないか

ゆうこ
優子

: よくないわよ、どうしてそんな重大な事かくしてたのよ

ふじお
富士夫

: 相談しようにも相談するような雰囲気じゃなかったじゃないか⁵³

ゆうこ
優子

: どころが

よしぞう
義造

: いいじゃないかさ

家へ帰ってから話そう

陽子 : 不登校の問題児は、やっぱり出ちやまずい⁵⁴ ですよ

優子 : 陽子

陽子 : あたし、しばらく学校に行かない事にしたの

優子 : なんでよ

今度はうまくいく⁵⁵ って言ってたじゃない、あんた

陽子 : だめだよ、やっぱり

富士夫 : 広瀬っていう男子生徒の事か

優子 : 誰、広瀬って

富士夫 : 学校の友達から電話があつてな

優子 : お母さん、聞いてないわよ

待ちなさい、どこ行くのよ、あんた

誰、広瀬くんって

由太郎 : あああ、せっかくのオーディション⁵⁶ ぶちこわし⁵⁷ だよ

面接官 : 行っちゃった

品川 : さてと、それじゃ今夜はどこかでパッと⁵⁸ 結団式でも、やりますか

山形 : いいですね部長

あつ、今度は社長でしたね

あつ、お金

富士夫 : あつ、はい

品川 : じゃ、急いで法務局の方へ書類を出してくるよ

今日は、大安だからね

あつ、5時に、セントラルホテルのロビーということで、どうかな

山形 : 分かりました

お気をつけて

山形 : いやあ、しかし、ほっとしましたね⁵⁹

これで、はれて⁶⁰、重役ですね

山形 : 奥さん、喜んでますでしょう

富士夫 : ええ

やっぱり

亭主が無職⁶¹ っていうのは、カッコつかない⁶¹ ですからね

山形 : そうそうそう

わたし もね、よめ 嫁はん⁶²と ども 子供を抱えて、いちじ 一時は とうなることかとも おも 思った⁶³ なんです
が

ふじお 富士夫 : ま、がんばりましょう、お互いに

やまがた 山形 : 捨てる神あればね、拾う神あり⁶⁴

ふじお 富士夫 : 品川さん

しながわ 品川 : すまん⁶⁵

さいしよ 最初っから、うそ 嘘だったんだ、この はなし 話は

ふじお 富士夫 : えええっ

しながわ 品川 : あのね、にようぼう はじ 女房が 始めたり サイクルショップ⁶⁶が、うまくいなくて⁶⁷、きが 気が
ついたらもう、よに 夜逃げするしか 手がなくて⁶⁸、そのとき、ふと きみ 君たちの かお 顔が
う 頭に 浮かんで⁶⁹ すまん

やまがた 山形 : ぶちよう 部長も ぶちよう 部長やけど、わたし 私 からも アホ⁷⁰ でしたね

ふじお 富士夫 : でも、たいへん 大変だろうな、しながわ 品川さん

やまがた 山形 : ほっときましようよ⁷¹、あんな

ひと しんぱい 人の心配してる 余裕 なんかないんですから

かわじり 川尻さんにも

どないしはりました⁷²

ふじお 富士夫 : 悪い、あの、さき 先に 帰っててくれる

ふじお 富士夫 : こんなだったのか、おれ 俺の じんせい 人生

ゆうこ 優子 : お帰り

ふじお 富士夫 : ただいま

ゆうこ 優子 : どうだった、しんがいしゃ 新会社

ふじお 富士夫 : だめだったんだよ

ゆうこ 優子 : どういう事

ふじお 富士夫 : いやまあ、いい はなし 話 だと思っただけどね、よ なか 世の中、そんだけ あま 甘くない⁷³ っていうことかな

ゆうこ 優子 : でしょう

あなたが じゅうやく 重役だなんて、はなし 話が うますぎる⁷⁴ と思っただよ

ま、200 万 損しなかったくらいに かんが 考えれば⁷⁵

ふじお 富士夫 : その、200 万 なんだけど

富士夫 : 落とした
優子 : えええええええつ